

Microsoft SQL Server 2005 SQL Server Management Studio データベースバックアップ設定マニュアル

<Windows 環境>

| 1. | 注意事項 | . 1 |
|----|---|-----|
| 2. | SQL Server 2005 Integration Services (SSIS)インストール | . 2 |
| 3. | データベースのバックアッププラン作成方法 | . 3 |
| 4. | データベースのバックアップ | 10 |
| 5. | データベースの復元方法について | 13 |
| 6. | データベースのログの圧縮 | 15 |
| 7. | データベース復旧モデルの設定 | 19 |

1. 注意事項

このマニュアルは Microsoft SQL Server 2005 のバックアップ設定マニュアルです。 Microsoft SQL Server 2008 のバックアップ設定については、別紙「Microsoft SQL Server 2008 バックアップ設 定マニュアル」をご覧下さい。

作業を実施される前に以下の注意事項を確認して下さい。

- ① Administrator 権限ユーザーにて実施を行って下さい。
- SQL Server Management Studio は Microsoft 社のソフトウェアとなります。 Microsoft 社のホームページよりダウンロードが可能です。
- ③ データベースサーバーにおいて作業を実施して下さい。 ※WEB サーバー専用のサーバーには実施していただく必要はありません。
- ④ バックアップ中はサーバー負荷が非常に高くなり、製品の運用は控えていただく必要がございます。
- ⑤ バックアップスケジュールは運用形態に合わせてご計画ください。
- ⑥ ご利用の SQL Server の Edition によりシステム要件が異なり、バックアップ設定中にエラーが発生した場合 は、以下の対処を実施します。

Standard, Enterprise

Integration Services (SSIS)がインストールされていない場合、エラーが発生します。

「2. SQL Server 2005 Integration Services (SSIS)インストール」のインストール作業を行ってください。 ■Workgroup

Workgroup Edition をご利用の場合には、Integration Services (SSIS)は、機能として含まれません。 サービスパックの適用「SQL Server2005 SP2 以上」が必要になります。

2. SQL Server 2005 Integration Services (SSIS)インストール

SQL Server Management Studio を使用して、定期的なバックアップを行うためには SSIS が必要となります。

① SQL Server 2005 インストールメディアを CD ドライブにセットし、開始画面の「サーバーコンポーネント・・・」をクリックし、画面の指示に従い(選択項目はありません)以下の画面まで進んでください。



- ② 上図の画面以外には選択項目はありませんので、「次へ」ボタン等で進んで、インストールを完了してください。
- ※通常、インストール中に SQL Server 2005 が停止することはありませんが、ご使用中の環境によってはサービス停止、OS の再起動を要求される可能性が有ります。

3. データベースのバックアッププラン作成方法

定期自動バックアップの設定を行います。

バックアップスケジュールについてはお客様の運用に合わせて設定してください。

こちらでは完全バックアップを取る際のファイル名の設定ですが、差分バックアップを取る際のファイル名の設定は、⑤から「データベースのバックアップ(差分)」を選択して設定を行ってください。

その際、任意に指定するバックアップファイル名は、完全バックアップとは異なる名前を指定してください。

① SQL Server Management Studio を起動してください。



② 対象のサーバー名の管理>メンテナンスプランを右クリックし、メンテナンスプランウィザードをクリックして ください。



③ 以下の画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



④ 以下の画面が表示されるので、ご使用中の環境に合った設定を行い、「次へ」ボタンをクリックしてください。

| 「新メンテナンス ブラン ウィザード 対象サーバーの選択 メンテナンス タスクを実行する対象サーバーを指定してください。 | | |
|--|----|---|
| 名前(<u>M</u>): 説明(<u>D</u>): | ×. | 任意の名前、説明を入力してください。 |
| サーバー(1): SKIWIN2003S | | |
| ♥ Windows 認証を使用する(処) ♥ SQL Server 認証を使用する(⑤) ユーザー名(Ú): パスワード(P): ヘルブ(比) < 戻る(图) 次へ(№) > 完了(F) | | 対象となるサーバーの確認、認証方式を 確認し、間違っている場合は修正及び入 力をしてください。 |

⑤ タスクの種類を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

| 1 つ以上のメンテナンス タスクを選択(S): | |
|--|--|
| □ データベースの整合性確認 □ データベースの圧縮 | |
| □ インデックスの再構成 □ インデックスの再構築 □ 統計の更新 □ 履歴のクリーンアップ □ 家QL Server エージェント ジョブの実行 ☑ データベースのパックアップ (完全) □ データベースのパックアップ (法分) □ データベースのパックアップ (トランザクション ログ) | 各タスクの詳細な情報は選択している行 の説明が、画面下部に表示されます。 「データベースのバックアップ(完全)」を選 択してください。 |
| ↓ データベースのバックアップ(完全)タスクでは、バックアップ元データベース、バックアップ先ファイ ルまたはテーブ、および完全バックアップの上書きオブジョンを指定できます。 | |

⑥ 複数のタスクを選択された場合は、以下の画面で順番を指定することが出来ます。 「次へ」ボタンをクリックしてください。

| 一 | |
|---|-----------------|
| メンテナンス タスクの順序を選択 タスクを実行する順序を指定しますか? | A. |
| 実行するタスクの順序を選択(ら) | |
| データベースのバックアップ(完全) | |
| 上へ移動(U) 下へ利 | 多動(<u>D</u>)… |
| データベースのバックアップ (完全) タスクでは、バックアップ元データベース、バックア ルまたはテーブ、および完全バックアップの上書きオプションを指定できます。 | ?ップ先ファイ |
| ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(M) > 完了(F) * | キャンセル |

⑦ バックアップの設定画面が表示されるので、各項目を設定し「次へ」ボタンをクリックしてください。

| 「 「 「 「 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | |
|--|---|
| データベース(D): 特定のデータベース バックアップの種類(k): 完全 バックアップ コンボーネント ○ データベース(E) | 右端の▼をクリックして、これらのデータ |
| ○ ファイルおよびファイル グルーブ(Q): バックアップ先 バックアップ先: ○ ディスクロ ○ テープ(P) | 「OK」ボタンをクリックしてください。 |
| 1 つ以上のファイルにデータベースをバックアップする(S): 道加(<u>A</u>)… 所除(<u>M</u>) 内容(<u>D</u>) バックアップ ファイルが存在する場合に行う操作(S): 道加 ブカガー | こちらにチェックを付けて、追加ボタンを クリックしてファイル名の設定、 および、バックアップファイルが存在する 場合に行う操作で「 上書き 」を選択してく |
| データベースごとにサブディレクトリを作成する(型) フォルダ(型): 「C*Program Files*Microsoft SQL Server*MSSQL1*MSSQL*Baci」」 バックアップ ファイルの拡張子(型): bak 「バックアップの整合性を検証する(型) | 1220% |

⑧ バックアップファイルの保存先および保存ファイル名を入力してから「OK」ボタンをクリックしてください。 デフォルトでバックアップ先フォルダまで指定済みとなっていますが、ドライブ名を含めたパスを確認し、ファ イル名を最後に追記してください。

| バックアップ先の選択 ドリーン バックアップ先のファイルまたはバックアップ デバイスを選択します。頻繁に使用するファ イルのバックアップデバイスを作成できます。 | |
|--|--|
| ディスクのバックアップ先 ・ ファイル名(E): D¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL1¥MSSQL¥B# ・ バックアップ デバイス(B): | 参照ボタンをクリックし、展開した画面 にてバックアップファイル名を任意入 力します。 (例)Backup_full.bak |
| ОК <i>キャンセル</i> | |

(例)C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥MSSQL¥Backup¥Backup_full.bak ファイルの拡張子は「.bak」となります。 ⑨「変更ボタン」をクリックしてスケジュールを設定してから「次へ」ボタンをクリックしてください。

| | <u>-0×</u> |
|--|------------|
| プランのプロパティを選択 メンテナンス ブランのプロパティを定義します。 | |
| メンテナンス ブランのスケジュールを定義します。 | |
| スケジュール | |
| 不定期(要求時) | 変更① |
| | |
| | |
| ヘルブ(H) < 戻る(B) 次へ(M) > 完了(E) >> | **>セル |

1 運用形態に合わせたスケジュールを設定してください。

| 🏢 新しいジョブ スケジュー | -,IL | × | |
|------------------------|---|-----|------------------|
| 名前(N): | ┃ | ╷╷ | 任意の名前を入力してください。 |
| スケジュールの種類(<u>S</u>): | 定期的 | | |
| 指定日時に発生 | | | |
| 日付回 | 2008/10/24 🗾 時刻(1): 15:19:42 🚆 | | |
| 頻度 | | | |
| 美行(<u>R</u>): | 毎週 | | |
| 間隔(<u>R</u>): | [1 글 /// 토 모델티 / 사이 토 노델티 / 사이 토 노델티 / 사이 | | 選択されたタスクを実行するスケジ |
| | | | |
| →日のうちの頻度 | | | |
| 1 (A): | 00000 | | |
| ○ 間隔(○): | 1 📰 時間 🔽 開始①: 0:00:00 🚍 | | |
| | 終了(Q): 23:59:59 📑 | | |
| 実行時間 ———— | | | |
| 開始日 (<u>D</u>): | 2008/10/24 🔽 🔿 終了日(E): 2008/10/24 🔽 | | |
| | ・ ・ ・ | | |
| 概要 | | | |
| 見8月(<u>P</u>): | 毎週日曜日の 0:00:00 に実行: スケジュールは、2008/10/24 に開始します. | | |
| | | /// | |

- ※ 完全バックアップタスクの場合、それまでの差分バックアップファイルは不要となります。また、完全バックアップ取得直後に差分バックアップを取得する必要は有りません。
- ※ 差分バックアップを使用してデータベースを復元する場合、差分バックアップ前に取得した、完全バック アップファイルが必要となります。

① レポートオプション画面が表示されるので、出力先を設定して「次へ」ボタンをクリックしてください。

| 新メンテナンス ブラン ウィザード - SKIWIN2003S | |
|---|---------|
| レポート オプションの選択 メンテナンス ブランのアクションのレポートを保存または配布する場合のオブションを 選択します。 | |
| ☑ レポートをテキスト ファイルに書き込む(₩) | |
| フォルダの場所(Q): 「D:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MS | <u></u> |
| □ レポートを電子メールで送信する(L) | |
| 宛先① | 7 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| ヘルプ(H) 〈 戻る(B) 法へ(N) > 完了(F) >> キ | ャンセル |

12 完了画面が表示されるので「完了」ボタンをクリックしてください。

| 厨メンテナンス ブラン ウィザード − SKIWIN2003S | - O × |
|--|--|
| ウィザードの完了 ウィザードで選択した内容を確認後、「完了」をクリックします。 | in the second se |
| 次のアクションを実行するには、「完了」をクリックします。 | |
| □ メンテナンス ブラン ウィザード 由・'SKIWIN20035' のメンテナンス ブラン 'MaintenancePlan' の作成 由・データベースのバックアップ (完全) タスクの定義 由・メンテナンス ブランのプロパティを定義します。 由・選択されたレポート オブション | |
| ヘルプ(出) <戻る(出) 次へ(出) > 「売了(日) ★ | F#)_211 |

③ 進行状況画面で以下のようなエラーが発生した場合、ご利用の Edition により以下の対処を行います。
 ■Standard、Enterprise

Integration Services (SSIS)がインストールされていない場合、エラーが発生します。 「2. SQL Server 2005 Integration Services (SSIS)インストール」のインストール作業を行ってください。

Workgroup

Workgroup Edition をご利用の場合には、Integration Services (SSIS)は、機能として含まれません。 サービスパックの適用「SQL Server2005 SP2 以上」が必要になります。

| 爾メンテナンス ブラン ウィザード - SKIWIN200 メンテナンス プラン ウィザードの進行状 [停止]をクリックすると操作を中断します。 | 3S 沈 | | |
|--|-----------------------------------|---|---|
| 1 7- | 5 合計 0 成功 | 1 Iラー 0 警告 | |
| ま#細辺/ アクション メンテナンス プラン "MaintenancePlan" メンテナンス プランにタスクを追加 スケジュール設定のオプションの追加 報告のオプションの追加 報告のオプションの追加 メンテナンス プラン "MaintenancePlan" | 状態 エラー 停止 停止 停止 停止 | メッセージ メンテナンス ブラン ウィザード メンテナンス ブラン ウィザード メンテナンス ブラン ウィザード ・ メンテナンス ブラン ウィザード ・ | リンクをクリック の進行状況 が存成できませんでした。 グラン の作成に失敗しました。(MicrosoftSqlServer,MaintenancePlanTasks) SQL ステートメントまたはパッチの実行中に例外が発生しました。 .SqlServer,ConnectionInfo) た "@ubsystem"(無効な値が sp_enum_sqlagent_subsystems から返され Miserver Karl |
| | 1912-00 | Ø• 🖻 😫 | OK |

④ 進行状況画面で以下のようなエラーが発生した場合、SQL Server のネットワークパケットサイズを変更して頂くことで、問題が解決する可能性があります。Microsoft SQL Server Management Studio のサーバーのプロパティより設定を変更して下さい。

詳しくは製品インストールマニュアル「SQL Server のネットワークパケットサイズを変更する」をご参照下さい。

| 8 | 15- | 5 合計 4 成功 | 1 エラー 0 警告 | |
|-----|--|--|---|------------------------------------|
| 羊糸田 |](<u>D</u>): | | | |
| _ | アクション | 状態 | メッセージ | |
| 2 | メンテナンス ブラン "MaintenancePlan" | 成功 | | |
| 2 | メンテナンス フランにダ人クを追加 | 55,17] | | |
| 2 | スケンユール設定のオブジョンの週間 お生 のナマンシンの追加 | bxJJ | | |
| 9 | YR古のオノンヨンの理加 いいニナンコープニン。 [™] Maintenance Diau [®] | _{カス} リ」 テニ | | |
| 3 | プラナテラス アフラーMaintenanceFlan | T)- | <u>~~~~~</u> | |
| | メンテナンス プラン ウィザードの進行 | 状況 | | |
| | メンテナンス プランを保存で 追加情報: 、 Save ToSQLServer メソ されました。発行された に、 Save ToSQLServer 検出されました。発 | きませんでした。 ノッドで OLE DB 1 SQL ステートメン1 r メソッドで OLE [沂された SQL ス5 | Eラー コード 0x80004005 (通信 くは失敗しました。 2B エラー コード 0x80004005 (3 テートメントは失敗しました。 | リンクが失敗しました。)が検出 動信リンクが失敗しました。)が |

4. データベースのバックアップ

SQL Server のメンテナンス作業を行う場合など、作業時点のバックアップを取得する場合に参照してください。

4-1. 定期バックアップを保存しているファイルに上書きする場合

『3. データベースのバックアッププラン作成方法』で設定した定期実行のバックアップファイルに上書きします。 すでに設定されているバックアッププランを使用するため簡単にバックアップを取ることができます。

- ① SQL Server Management Studio を起動して下さい。
- ② 製品がインストールされているサーバーグループを選択し、対象となるサーバーを開いて下さい。
- データベースの一覧から「nidb5」を右クリックし、メニューを開き、「タスク」の中の「データベースのバックア ップ」を選択して下さい。



 ④ 製品データベース「nidb5」が選択されているのを確認し、バックアップ セットで「nidb5-完全 データベース バックアップ」を選択し、「OK」ボタンを押します。

| 🥛 データベースのバックアップ - 🛚 | idb5 _ [] × | × |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|
| ページの選択 | S スクリプト マ 🖸 ヘルプ | |
| | データペース(D) 前日モデル(m) 「ひし 「ためでいたのを新聞(い) 二 | 製品データベース「nidb5」が選択されていることを必ず確認してくださ |
| | バックアランル理由し、 バックアップ コンボーネント: (* データベース(P) | |
| | C ファイルおよびファイル グループ(2): | |
| | 名前(1): nidb5-完全 データベース パックアップ 説明(5): | |
| | バックアップ セットの有効期限: (* 期間指定(E): 0 二日 | |
| 接続 | C 日時指定(Q): 2009/02/05 バックアップ先 | |
| サーバー: 192.168.166.78 接続: sa | パックアップ先 C ディスクΦ C テープ(P) C#Program Files¥Microsoft SOL Server¥MSSOL1¥MSSOL¥Backup¥nidb5 道加(D) | バックアップ先が定期実行で指定し ているファイルになっていることを |
| 野 接続のプロパティを表示しま す | 副聯(B) 内容(C) | 催認してください。 |
| 準備完了 | | |
| | | |

5 正常にデータベースのバックアップが終了されますと、以下のメッセージが表示されます。 以上で、データベースのバックアップが完了となります。

| Microsoft SQL Server Management Studio | × |
|--|----|
| データベース 'nidb5' のバックアップが正常に完了しました。 | |
| 4 <u>1</u> | ОК |

4-2. 外付けの HDD などに直接データベースファイルのバックアップをとる場合

定期バックアップとは別に、外付け HDD など外部メディアにバックアップを取得する場合に参照してください。 SQL Server を停止する必要があるため、製品を利用できません。ユーザーに対して運用停止の案内を行って から作業を開始してください。

① SQL Server を停止します。

SQL Server Management Studio で SQL Server を右クリックし、「停止」を選択します。



② データベースをコピーし、バックアップを保存したいメディアに貼り付けます。

製品データベースファイル「nidb5.mdf」「nidb5_log.ldf」と

カタログファイルのフォルダ※「nic_pmail_data_catalog」「nic_smail_data_catalog」は通常 SQL Server のデ ータ格納箇所に配置されております。SQL Server を標準インストールした場合、データ格納場所は以下 となります。

例)SQL Server インストールドライブ¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥MSSQL¥Data ※カタログファイルは NI コラボご導入の際のみに生成されるファイルです。NI コラボご導入の際はこちら のフォルダも合わせてバックアップしてください。

③ ②の作業が終了したら、SQL Server Management Studio で SQL Server を右クリックし、「開始」を選択し ます。

5. データベースの復元方法について

データベースを復元する際は、以下の手順によりバックアップファイルより復元が可能です。 以下はバックアッププランにて取得したデータの復元方法の説明となります。 復元を実行している間、製品を利用できません。ユーザーに対して運用停止の案内を行ってから作業を開始し てください。

① nidb5を右クリックして、タスク>復元>データベースをクリックしてください。

| ● midb5 新しいデータベース(M) ● midb6 新しいヴータベース(M) ● midb6 新しいウエリ(Q) ● セキュリティ ▲ 和商を付けてデータベースをスクリプト化(S) | タベース ダイアグラム | |
|--|--|--|
| □ □ サー/ タスク① □ □ 資格 2 満谷 2 → サーバー: 削除(0) | → デタッチ(<u>D</u>) オフラインにする(<u>T</u>) オンラインにする(<u>T</u>) | |
| ■ バッグ | 圧縮(S) バックアップ(B) | |
| 」 <u>□</u> レプリケーション 3 <u>□</u> 管理 □ □ <u>□</u> メンテナンス ブラン | 復元(R) ミラー(M) トランザクション ログの配布(L) | データベース(① ファイルおよびファイル グループ(E) トランザクション ログ(① |
| MaintenancePlan1 □ SOL Server □ ヴ 観在 - 2008/10/24 17:08:00 ジーカイブ #1 - 2008/10/02 20:28 ジーカイブ #2 - 2008/10/02 14:59 ジーカイブ #2 - 2008/10/02 14:48- | スクリプトの生成(E) データのインボートФ データのエクスボート <u>Ø</u> データベースのコピー(<u>©</u>) | |
| 3000/10/02 14:40 | | - |

② 以下の画面が開くので、復元するバックアップファイルを選択し、 画面左側のオプションをクリックしてください。

| 🧊 データベースの復元 – nidb5 | |
|---|---|
| ページの選択 | 🔄 スクリプト 🔹 🕼 ヘルプ |
| (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 復元先 |
| | 復元操作を行う新規または既存のデータベースの名前を選択するか、入力します。 |
| | 復元先データベース(Q): <u>nidb5</u> |
| | 復元する特定の時点(工): 最新の候補 … |
| | 復元用のソース |
| | 復元するバックアップ セットの復元元ファイルと場所を指定します。 |
| | ● 復元元データベース(R): nidb5 |
| | O テノバイスから@): |
| | 復元するバックアップ セットの選択(E): |
| | 復元 名前 コンボーネント 種類 サーバー データベース ▼ nidb5_backup_20081024172804 データベース 完全 SKIMIN2003S nidb5 |
| 接続 | ここで選択されているバックアップファイルの時点 |
| サーバー: SKIWIN2003S | までデータベース内容が戻ります。 |
| 接続: | 最新のバックアップファイルを選択してください。 |
| SKIWIN2UU3S¥Administrator | バックアップファイルを移動していない場合は、 |
| 野 接続のフロバティを表示しま | 初期表示で最新のファイルが選択されます。 |
| 進行状況 | |
| 準備完了 | |
| ve _{qab} er | |
| | OK キャンセル |

③ 既存のデータベースを上書きするにチェックをつけ、「OK」ボタンをクリックしてください。

| 🧊 データベースの復元 - nidb5 | | | | |
|----------------------------------|--|---|--|--|
| ページの選択 | 🛒 スクリプト 🝷 🛐 ヘルプ | | | |
| ☆ 全般 ☆ オブション | | | | |
| | ▼ 既存のデータペースを トまきする(0) | | | |
| | レプリケーションの設定を保存する(P) | | | |
| | □ 各バックアップを復元する前に確認する(R) | | | |
| | | | | |
| | 次のデータベース ファイルに復元(<u>S</u>): | | | |
| | 元のファイル名 | 復元先 | | |
| | C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server | C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥ | | |
| | C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server | C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥ | | |
| | | | | |
| | 復日状態 | | | |
| 接続 | - コミットギカア(いた(いトラン)ポカションをロールしい | ックレイ データベーフを使用可能が状態にする、別の | | |
| サーバー: SKIWIN2003S | トランザクション ログは復元できません。 ①(F | ESTORE WITH RECOVERY) | | |
| 接続: SKIWIN2003S¥Administrator | データベースは操作不可状態のままで、コミッのトランザクション ログは復元できます。(A)(F | ットされていないトランザクションはロールバックしない。別 RESTORE WITH NORECOVERY) | | |
| 野 接続のプロパティを表示しま す 進行状況 | データベースを読み取り専用モードにする。コ 〇 復日結果を元に戻せるように元に戻す操作れ WITH STANDBY) | ミットされていないトランザクションは元に戻されますが、 をスタンパイ ファイルに保存します。 ①〈RESTORE | | |
| 準備完了 | スタンバイ ファイル(1): | | | |
| | | OK キャンセル | | |

左下の進行状況が100%になると完了です、実行中はデータベースへのアクセスは出来ません。

6. データベースのログの圧縮

データベースのログの容量が大きくなり、ディスク容量を圧迫しているときにはこちらの作業を行ってください。 データベースのログを圧縮することができます。

この作業では WEB サーバーを停止する必要があるため、作業中は製品をご利用はできません。ユーザーに対して運用停止の案内を行ってから作業を開始してください。

① WEB サーバーを停止します。

■Apache をご利用の場合

Windows のスタートプログラムより以下の順番に選択し、Apache を停止します。

「スタート」→「プログラム」→「Apache HTTP Server 2.2」→「Control Apache Server」→「Stop」を順に選択して ください。OSによっては上記の「Stop」が表示されない場合があります。この場合、Apache のコマンドプロンプ ト画面を開き、「Ctrl」を押しながら「C」を押してください。



■IIS をご利用の場合

- 1)Windows のスタートプログラムより、「管理ツール」メニューグループからインターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャを起動し、コンソールウィンドウを開いて下さい。
- 2) 製品がインストールされているサーバーをクリックして展開します。
- 3)詳細画面が表示されますので、画面中央の一覧をクリックし、画面右側の Web サイトの管理メニューより [停止]をクリックして下さい。

IIS6 場合



IIS7 の場合



データベースのバックアップを取得します。
 「4. データベースのバックアップ」をご覧ください。

- ③ SQL Server Management Studio のクエリアナライザより、ログファイルの削除を行います。
 - 1) SQL Server Management Studio を起動し、「新しいクエリ」を選択します。



2) プルダウンで製品データベース「nidb5」を選択し、「backup log nidb5 with No_log」を入力し、実行ボタンを押します。「コマンドは正常に完了しました。」と表示されることを確認してください。



3) データベース>製品データベース「nidb5」を右クリックし、「すべてのタスク」から「データベースの圧縮」を選択します。



4) 以下の画面が表示されますので、「OK」ボタンを押してください。 すべての作業が終了しましたら WEB サーバーを起動してください。

| 🧊 データベースの圧縮 - nidb5 | | _ 🗆 × |
|-------------------------|---|---|
| ページの選択 | 🖾 スクリプト 🔹 📑 ヘルプ | |
| ☆ 全般 | データベースのサイズが、データベース す。個別のデータベース ファイルを圧縮 | ファイルの圧縮、未便預領域の解放によって全体的に縮小されま するには、しァイルの圧縮1を代わりに使用します。 |
| | データベース(<u>D</u>): 1655 | |
| | 現在割り当てられている領域(C): | 40.81 MB |
| | 使用可能な空き領域(A) | 0.08 MB (0%) |
| | 圧縮アクション | |
| | □ 未使用領域の解放前にファイル る可能性があります。(R) | を再構成する。このオプションを選択するとパフォーマンスに影響す |
| | 圧縮後のファイルの最大空き領域 | ∉(<u>M</u>): 0 <u> </u> |
| 按續 | | |
| サーバー: 192.168.166.78 | | |
| 接続: sa | | |
| 野 接続のプロパティを表示しま す | | |
| 進行状況 | | |
| 準備完了 | | |
| | | OK キャンセル |

※今後、データベースのログファイルの容量が肥大化しないように設定したい場合は、「7. データベース復 旧モデルの設定」を参照してください。

7. データベース復旧モデルの設定

ログファイルの容量の肥大化を防ぐために、データベースの復旧モデルの設定を行います。 ※「6. データベースのログの圧縮」を実施してから以下の設定を行ってください。

- ① SQL Server Management Studio を起動し、製品データベース「nidb5」を右クリックして、プロパティを選択してください。
- ② オプションで復旧モデルを「単純」に選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

| Kicrosoft SQL Server Manager | ment Studio | | | | | |
|---|---------------------------|--------------------------|-----------------------|--------|----------|--|
| ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ウインドウ(W) コミュニティ(C) ヘルブ(H) | | | | | | |
| 😳 新しいクエリ(N) 💦 📆 📆 | 56 DA 166 DA 68 DA 69 | 12 18 m - | | | | |
| オブジェクトエクスプローラ | - ⁻ · · · / 相平 | | | | | |
| 接続(の)・ 🜒 🔳 🔄 🝸 | | | 1. #. L/A | | | |
| D2PMCW1V (SOL Server 9.0.1 | 200 - cp) | | D/K − P(<u>O</u>) + | | | |
| □ □ データベース | | _ مالم ت | | | | |
| 🗉 🚞 システム データベース | | niads | | | | |
| 🗉 🚞 データベース スナップシ | avh | D2BMCW1X¥データベース¥nidb | Sfiveniest | | | |
| ・indbSfiveniest ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | |
| 田 🧰 ビキュリリイ 田 🧰 サーバー オブジェクト | ページの選択 | S スクリプト • 📑 ヘルプ | | | | |
| ■ 🚞 レプリケーション | 全般 | | | | | |
| 🗉 🧰 管理 | | 照合順序(<u>C</u>): | Japanese_BIN | | | |
| 🗉 📸 SQL Server エージェント | 一 オプション | 復旧壬壬儿(M): | 111.84 | | - | |
| | 1 1 HPR | THE CONTENT | 完全 | | | |
| | ☆ 拡張プロパティ | 生換性レベルビニ | 一括ログ | | | |
| | トランザクション ログの配布 | Z0(40+131-2.(0) | | | | |
| | | | | | | |
| | | コーソル | | | _ | |
| | 0 | コミットでカーソルを閉じる | l l | False | | |
| | | 既定のカーソル | (| Global | | |
| | | 日 その把 ANSI NIII L 限定値 | | False | | |
| | | ANSI NULL 有効 | | False | | |
| | | ANSI PADDING 有効 | 1 | False | | |
| | | ANSI 警告有効 | 主/市田 (| False | | |
| | | パラメータ化 | 202/13 | 商易 | | |
| | | 引用符で囲まれた識別子 | 有効 | False | | |
| | | 再帰りガ有効 | 1 | False | | |
| | 接続 | 算術がホート有効 | | False | | |
| | サーバー: | 数値丸め処理アポート | | False | | |
| | D2BMCW1X | 日付の相関関係の最適(| 上有効 F | False | | |
| | 接続 | 複数データベースの組み合 | おせ所有権有効 | False | | |
| | Sa | 自動圧縮 | 1 | False | | |
| | 野 接続のプロパティを表示しま | 自動終了 | 1 | False | | |
| | 2 | 統計の自動更新 | | True | | |
| | 進行状況 | | | Irue | | |
| | 準備完了 | HIGT HOLL MAEIE | | | | |
| | Sec. 1 | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | 1 | |
| | | | | OK | ++>CN | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| l | | | | | | |

〇 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

O 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了解ください。

〇 発行

2013 年 1 月 18 日 第 6 版

株式会社 NIコンサルティング

サポートデスク

E-mail : support@ni-consul.co.jp Fax : 082-511-2226

営業時間:月曜日~金曜日 9:00~12:00、13:00~17:00(当社休業日、土・日・祝日を除く)